

アメリカは日本を疫病視した

デービッド・リー

(日本語訳：「史実を世界に発信する会」)

「疫病が拡散し始めたら、共同体は患者を隔離しなければならないのは当然のことだ。住民の健康を守るためには、やむを得ないことである」

フランクリン・ルーズベルト シカゴに於て 1937

ルーズベルト大統領がこの言葉は口にしたのは、第二次世界大戦が勃発しようとしていた時期であり、日本・ドイツ・イタリーを念頭において語ったものだった。2021年5月24日、米国国務省は、日本を対象として、渡航警戒レベルをレベル4へ引き上げた。米国人旅行者が日本を訪問しないようにという最高レベルの勧告であり、これを以て、隔離政策に着手したのである。

「レベル4」の勧告は、国務省によれば、「生命の危険が高い」という意味だということだ。目下、他に「レベル4」に指定されている国にはハイチがある。ハイチが「レベル4」に指定されたのは、「治安悪化」と「誘拐され、人質に取られる危険がある」ことと、「暴力犯罪、組織犯罪が広まっている」ことが理由である。国務省は、ハイチでは、「新型コロナウイルス感染症」(COVID-19/以下「コロナ」とする)が広まっていることも理由の一つだと言っている。しかし、ハイチは、昔から、社会問題の外に健康問題でも苦悩を味わっている。WHOによれば、ハイチは西半球の最貧国である。後天性免疫不全症候群(エイズ)が、「青少年の場合も、成人の場合も、第一の死亡原因になっている」。結核は「六番目の死亡原因」である。最後に、「生活用水が手に入りにくいのが大きな問題になっている」。¹ 苛酷な健康問題にさらされている「レベル4」の国は、他には、コロンビア、ベネズエラ、アゼルバイジャン、アフガニスタン、ビルマ(or ミャンマー)などがある。米国国務省は、日

¹ <https://www.who.int/hac/crises/hti/background/profile/en/>

本も国内の治安と健康問題が悪化しているために、このような国々と同様の「どうにもならないレベル」の危機に陥っていると決めつけた。

日本が「レベル4」に指定された理由は、米国疾病管理センター（CDC）によれば、日本のコロナ患者の数が「非常に高い(very high)」からということであるらしい。国務省は、CDCのデータを基にして渡航中止勧告を発している。「非常に高い」というのはどのくらい高いのだろうか。「非常に高い」という言い方はずいぶん主観的ではないだろうか。例えば、5月25日現在で、日本の人口当たりのコロナ患者数は米国の約半分である。他の国々の人口当たりのコロナ患者数を見てみると、「非常に高い」というレッテル張りがどんなに馬鹿馬鹿しいものであるかが分かるというものだ。日本の外にヨーロッパの国々の中にも、「レベル4」に指定された国は多いし、カナダもそうである。5月25日現在で、ドイツの患者数は日本の2倍であり、カナダやスペインは3倍近くになっている。フランスに至っては、日本の4倍である。5月25日現在で、英国でワクチン接種を完了した（or ワクチンを二回とも接種した）国民は35%だった。同じ5月25日現在で、日本の場合はわずか2%だ。² それでいて、人口当たりの患者数を見ると、日本と英国はほとんど同じなのだ。米英は積極的にワクチン接種を進めているが、日本はそうではない。しかも、日本の患者数は英国と同じくらいで、米国より少ない。それでいて、「レベル4」に指定されるとは何という不条理だろう。日本はコロナワクチン政策に関して、じっくり考えることができたのだ。いや、そうする必要があったのだ。

コロナに限らず、飛行機事故、魚の汚染などが爆発的に増加したとメディアが主張している場合には、常に「何と比較して」「いつと比較して」という疑問を抱く習慣を付けなければならない。そういう習慣をつければ、同じ数値を与えられても、客観的な判断をす

² 6月1日現在で、英国の患者数は人口比では日本の2倍になっている。かつ、日本の患者数は5月中旬のピークから見れば半分に減っている。そして、ワクチンの完全接種を受けた者（or ワクチン接種を2回とも受けた者）は人口3%に過ぎない。

ることができ、長期的な傾向を把握することができるようになる。ふつうの人は、情報を得てもすぐに忘れてしまったり、記憶が曖昧になったりする。メディアはそこに付け込んで平気で嘘を言う。コロナについて言えば、日本は米国を含めたたいていの国よりもずっとよくやっている。

5月24日の「レベル4」指定は効果があった。観光客もビジネス客も日本へは行かなくなったのだ。経済制裁のようなものだった。「レベル4」の地域に向かう米国人旅行者の旅行保険料率が上がりそうだ。そのせいで、旅行をキャンセルする人も出るだろう。いや、保険の問題がなくても、キャンセルしそうだ。米国が日本経済や海外旅行分をめちゃめちゃにしてしまった。それも、「生命の危険がある」という荒唐無稽な言い分を通したのである。人口当たりの感染者数を比較するだけでも、米国の方が日本よりコロナに感染する確率が高いということは分かりそうなものだ。こうなるともはや「科学」ではない。米国は恐怖に駆られて日本をレベル4に指定したが、なんと、世界の大半の国がレベル4にされてしまったのである。

米国のこんなやり口もあんまりだが、もっと腹立たしいのは、現在の日本政府が、そこまでされて、何の反応も示さないことだ。米国は日本の同盟国である。その米国が日本を第三世界の国々なみに扱ったばかりでなく、実質的には禁輸措置を取ったと言ってもよい。NHKによると、5月24日にレベル4に指定された後、加藤勝信官房長官は、「米国とは密接な接触を保っている」と述べ、さらに「情報を収集し、適切な行動を取るつもりである」と付け加えた。どうも日本政府は腹が決まっていけないのではなかろうか。経済制裁や禁輸措置を受けた国、例えば中国や北朝鮮は、繰り返し声高に抗議して、国際世論に訴えている。多分、日本政府は外人観光客が落とす金が大幅に減ることに無頓着だからなのだろう。

日本政府はどのような反応を示したらよかったのだろうか。現実には人口当たりのコロナ感染率は米国より低いというのに、にわかになレベル4の渡航中止勧告を押し付けられてしまったのだ。こんなことがあっていいものだろうか。日本政府は反撃しなければならなかったのだ。日本の市民に対して、米国への渡航を中止するように勧

告するという手もある。アジア人に対する暴力は根強いものがある。特に黒人にその傾向がある。また、警察官は人種差別をする上に、やたらに発砲するくせがある。日本政府はそろそろ覚悟を決める時期ではなかろうか。米国がアジア人に対する暴力と、人種差別の警察官の問題を解決してくれない限り、日本人に米国渡航をさせないという態度を取ったらどうだろう。なにしろ、日本人観光客の落とす金が各州の重要な収入源になっているのだ。特にハワイはそれが顕著である。

また、日本政府は、米国疾病管理センター（CDC）の無法な言い草に反論しなければいけなかったのだ。なにしろ、このセンターとやらは、「日本の目下の状況に鑑みると、ワクチンを接種した人でも、コロナの変異株に感染し、かつそれを米国で拡散する危険がある。日本への旅行は避けるべきである」などと言っているのだから。もし、センターの言っていることが正しいのならば、現在普及して来たコロナワクチンは、全く無用の長物だということになってしまうのではないか。西欧でワクチンを接種するようにとキャンペーンを行っているのは、市民がコロナに感染するのを完全に防ぐのが目的なのだ――西欧では子供の頃に様々な病気に対するワクチンを接種するが、それと似たようなものだ。ところが、センターの言い草は、コロナの変異株がどんどん生まれて来るたびに、一生の間ずっと、何度も何度もワクチンの接種を受けなければならないと言っているようなものだ。

センターが、地球上到る所に「レベル4」の勧告を押し付けるのは、一つには、コロナウイルスが「無症状」の人から健康な人へと簡単に広がって行くと信じているからである。この流れに乗ってしまうと、ウイルスに感染して症状の現れていない人も、発症前に他人を感染させてしまうという迷信にたぶらかされることになる。しかし、同済医科大学の曹博士のチームが昨年武漢で行った調査では、9,899,828 の被験者の中で、300人が無症状のコロナ感染者と認定された。この時は「逆転写ポリメラーゼ連鎖反応(RT-PCR)」を使

ったのだった。³ その300人のサンプルを培養して、コロナウイルスの確認を行ったが、「生存ウイルス」を含んだサンプルは皆無だった。さらに、無症状の患者と認定されて二週間隔離された人々の中にも、RT-PCRを使った検査で、発症した者はゼロ、ウイルスを検出された者もゼロだった。筆者のグループは、無症状で「陽性」(RT-PCRで)とされた人々は「他人に感染させる危険は少ない」という結論に達した。

最近、米国疾病管理センター(CDC)と米国国立アレルギー・感染症研究所(NIAID)は、コロナに関する医療的アドバイスを撤回した。その事情も分かって来ている。⁴ NIAIDは、コロナの世界的大流行に責任があるのではないかという疑惑もささやかれている。⁵ CDCは、恐怖心に駆られて旅行中止勧告を出したに過ぎない。それなのに、日本政府はCDCに反駁しようともせずに、何を言われても耐え忍ぶばかりだ。この弱腰は毎度のことではあるのだが。

いずれにせよ、米国の厳しい措置に対して、菅内閣は断固とした対応をすることができないでいる。これを見ると、現在の日本政府は、国民の代表であると自称しながら、実は国民の利益など慮っていないのではなかろうか。

³ ³ Cao, S., et al. (2020). ロックダウン後に、SARS-CoV-2 核酸スクリーニングを武漢の1000万人の住民を対象に行った。中国 *Nat. Comm.* 11: 5917

⁴ <https://www.sltrib.com/news/2021/05/13/andy-larsen-biggest/>

⁵ <https://thebulletin.org/2021/05/the-origin-of-covid-did-people-or-nature-open-pandoras-box-at-wuhan/>